

# オタクニオク

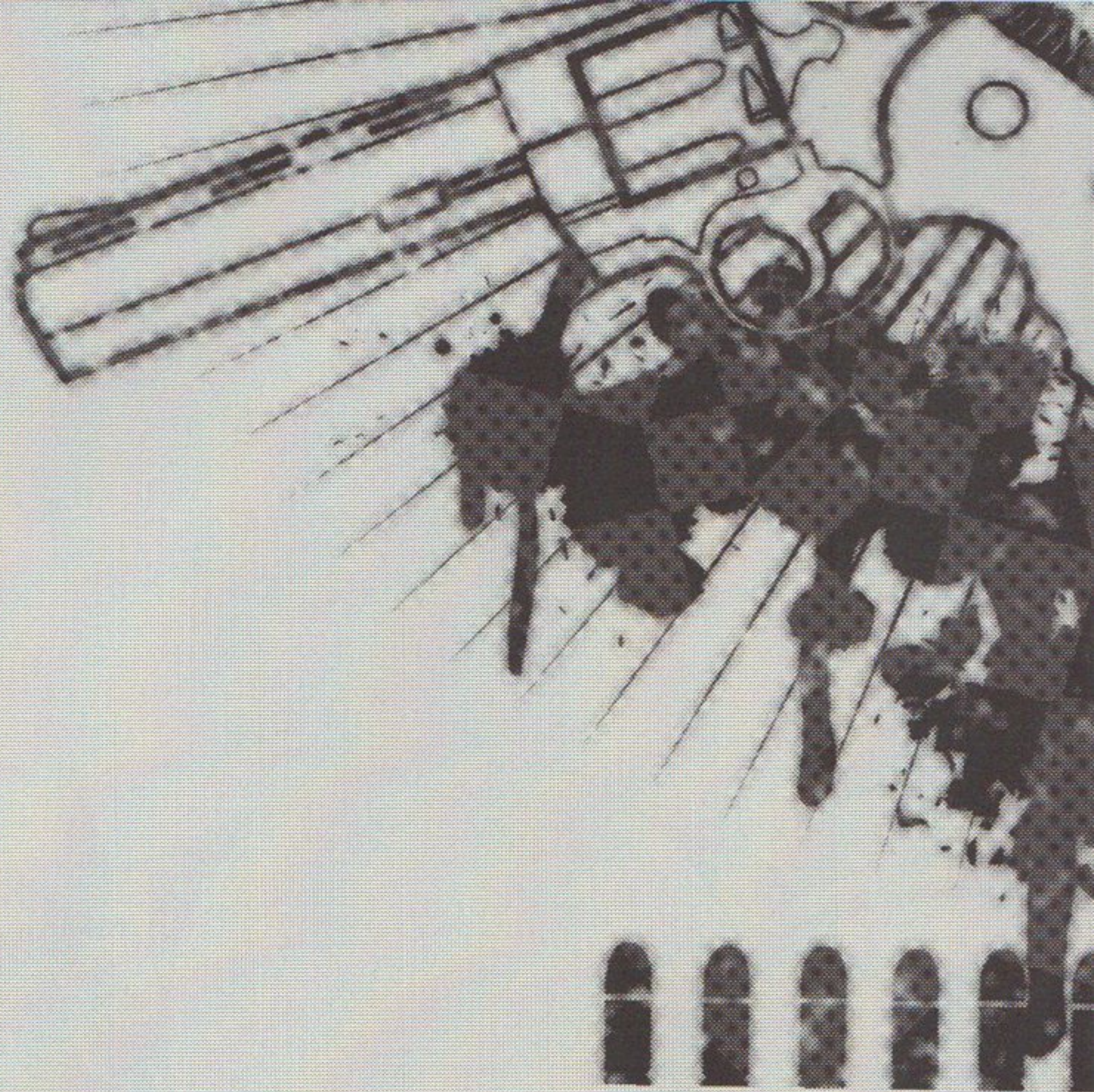
コ  
#  
ハ  
+

**R-18**  
FOR  
ADULT



# オトマエ

ユキハチ



## ナオトマニアアゲス

- 05 直斗と7人の番長 さくらさわゆきの
- 26 イラスト sogu
- 27 P4Uってたしかこんな内容でしたよね。 MEE
- 30 八十稲羽でスカイツリーを作る男 河住ゆいき
- 46 インフォメーション

初めましておひさしぶりです、さくらさわゆきのです。  
ごらんいただきありがとうございます～！

直斗ー直斗ー

今回はゲスト様にもお越しただいて！

丸ごといろんな直斗だらけの本になってます～！

おたのしみいただけるとうれしいです…！

直斗♡

し、しっかりとしろ、  
直斗

直斗♡

まずは落ち着いて  
最善策を練るん…

直斗♡

直斗♡

む、む無理だっ  
こ、こんな状況で…

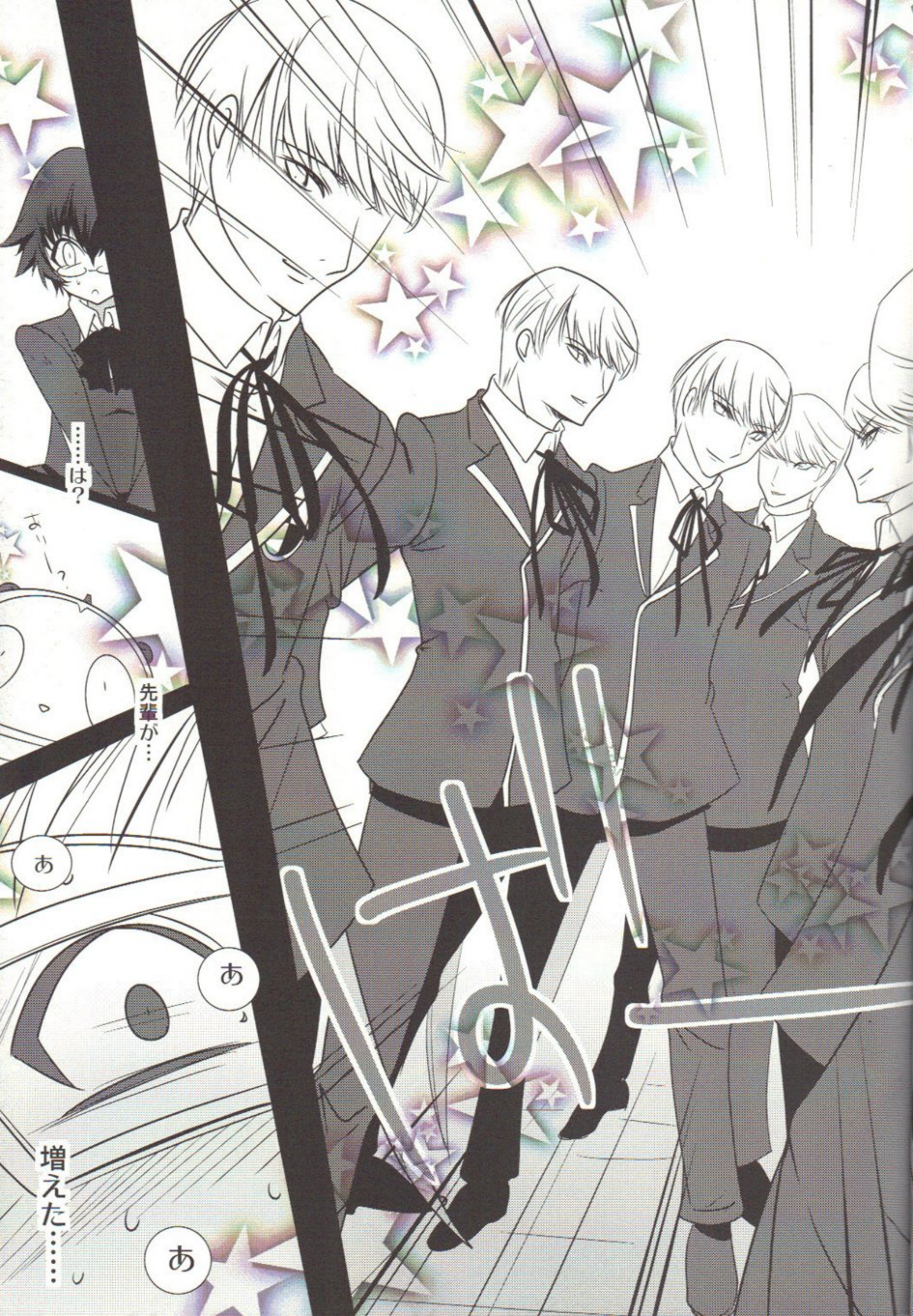
—先輩のペニスに囲まれて  
絶え間なく子宮を突かれて  
精液を掛けられて…

うあっ  
クリトリスまでえっ  
クリトリス、だ、駄目なのに…  
そんな、グリグリされたら…

も、もう…  
頭…真っ白で…  
あ、あああ…ええっと…

そ、そうだ…!!  
あの時、テレビの中で  
クマくんが…





……は？

先輩が……

あ

あ

増えた……

あ

こっちの世界でも  
効果が切れないとは  
どういう事なんだ…

…今日の所はひとまず  
うちに来て  
頂きましたが

僕の部屋には  
布団が一式しか  
ありません…

今晚はエアコンとコタツと  
ホットカーペットを強く入れて  
雑魚寝していただくしか…

困った事に  
なりましたね…

ああ、  
それなら心配ないよ

ヒューズ落ちるぞ？

ヒューズ

寝ないから♡

は？

こんな時に  
何考えてるんですか！  
ば、馬鹿ですか！

せ、せせせ  
先輩っ!!!



ほら、人間が7倍になったから性欲も7倍で…

そ、そんな訳ないでしょう!?

そ、それに、今日は戦闘で汗かいてますから、駄目ですっ!

直斗、俺もお願いしたいな♡

俺も♡

俺も

直斗♡

は、話聞いてます!? だからそんな事をしてる場合じゃ…

直斗…ダメ…?

っ…

あ…ああ…

だ、駄目だな…僕…頭ではわかってるのに…

先輩に求められると

うおっ♡

ん。確かに直斗のおっぱいいつもより濃いな

な…な…!!

おまんこもいつもよりおいしいかな

ば、馬鹿ですか!! 嫌あああ!!!

理性が…  
飛んでしまう……

あ…先輩のペニスも  
いつもより濃くて…  
すごい匂いが……

しかも7人分……

ああっ……  
この匂い……  
頭が……クラクラ……する……

直斗……ああ  
そんな喉の奥まで……

もつと吸って……  
ああ、そう、いいよ……

直斗の  
ロマンコ  
最高……

これがフェロモンって  
モノなのかな……  
く、臭いの……

な、直斗……  
出るっ……

それ  
すごっ……

出るうッ!!!

先輩の匂いが……  
た、たまらないんだ……

直斗おっ!!

えっ!?

ああああっ♡

入ってるっ

さっきまで  
舐めてた、  
あのペニスが…

僕の膣内につ…

すごい…よおっ

先輩っ!  
先輩っ♡♡

せ、先輩っ  
そんな奥まっ…

あんっ  
あんっ♡

っああ…  
直斗のおマンコ  
きつツ…

あっ♡

っごめん、  
気持ちよすぎるっ  
もう…出るっ…

先輩っ

は、はい…っ♡

出して…  
下さい…

先輩っっ

い…  
イクツ!!

先輩

絞り…  
取られる…

先輩のペニス…  
ドクドク脈打って

子宮に…精液…  
注がれてる…

口にも顔面にも…  
なんて匂いなんだ…

僕、  
こんなに染められて…

今…  
すごく、シアワセ、です…

先…輩…  
も、もっと…

僕に…  
お、おちんちんを下さい…

はよ

♡

知

直斗…

…それじゃ  
望みどおり

えっ

と

もっと  
おちんちん  
挿れて  
あげるよ♥

なっ!!

そ、そうじゃ  
ありません!!

そ、そこは…

な…直斗おおお!!

うああああつ

そ、そんな…  
2本もっ…!!

二本差しがいいなんて  
直斗はエッチだなあ♥

ち、違わない…かな

オマンコとアナルと…

僕の身体も心も  
こんなに  
先輩で満たされてる…

やっ…  
ち、違いますっ

先輩…  
先輩…

好き…

先輩っ  
好き、です…

直斗  
俺もだよ

ああっ…  
いいいく…  
イキますうっ

直斗、  
一緒にイこう

は、はいっ  
い、一緒に  
一緒に…









あ、元に  
戻りましたね  
よかったです！

現実世界でも  
出せるもの  
なんてすね



ああ…  
直斗…  
助かったよ…



Gやりました？Uやりました！？ふっおおおおおおおお！！！！！！！！(\*´Д`)  
直斗かわいいよ直斗かわいいよおおおお！！！！！！！！(\*´Д`)  
…Gの追加イベントの直斗がまた、さらにかわいくって！！もうもう！！  
衣装とかクリスマス前の夜会話とか初詣とか1/2とかペルソナ変わる時とかスキーとか  
バレンタイン前の夜会話とかバレンタインとかバレンタインとかバレンタインとか  
なにあれもうデレデレじゃないですか////////ふおおおおおおお////////

そんなわけで、いつもよりだいふデレデレなかんじに描いてみました…  
だ、大丈夫かなあ…イメージちがってたらごめんなさいorz

でもでも、あのバレンタインのは完全に誘ってますよねえwwwwww  
ていうか、初詣の後も自分から部屋に誘ってるし、女の子の1人暮らしの部屋に彼氏呼ぶとか  
もうね、ふおおおおお////////



Uも直斗ストーリーだと番長とのが…もうもう////////  
番長に会いたくて会えなくてとか  
やっと会えたのに一緒にいられなくてとか  
番長との会話もすごい好きです…  
なんかこう…多く語らなくてもわかりあってるみたいな  
直斗の全身から番長に信頼と安心が  
にじみててたまりません///  
あとクマストーリーの直斗もすごい好きです  
でもなおっばいグリグリはグリグリの刑です  
ていうか、Uで完全に巨乳とサラシが  
確定になってうれしいですww  
一番のコンプレックスとか///  
アーケードモードで番長と対戦すると番長が  
「俺が勝ったら男装は止めてもらう」っていうんですが  
それで負けて男装やめてGの後日談になるんですね  
わかります！(・▽・)

男装やめるといえば、  
Gの衣装替えもたまらないですねえ！  
コロネットアーマーああああ(\*´Д`)  
メイド服とかの時の勝利ポーズの  
「変じゃなかった、よね…」とかも  
あのポーズがまた！！！！

かっこのいい直斗も可愛い直斗も  
新しい直斗がいっぱい見られて  
もう今とてもシアワセですううう  
ありがとうございます！！！！  
ありがとうございます！！！！！！  
(\*´Д`)

Uで黒色メガネをかけさせて  
彼氏メガネ////////  
とかして喜んでたりwwww

そろそろお茶にしますか？



はい、お願いします

お先に懺悔…  
次からのページなんですが、  
セリフ付きのイラストいろいろになるはずが  
その…間に合わなくて  
しょうばいことになってます……J ｽﾝﾅｲorz  
本当はもっといろいろマニアックなもの描く予定で  
タイトルをマニアクスにしたのに…orz  
ていうかコロネットアーマーも描けなかったし  
オトナオトのまんがも描く予定だったのに…  
ションボリタイトル表紙詐欺でごめんなさいです…  
ふ、冬こそは…><。。。

ぜんぜん話は変わって、  
Gの後日談で直斗がリングネックレスしてて！！！！  
前に番長がナミ戦の後、チャクラリング贈ってプロポーズして  
直斗がそれをリングネックレスにしてるってマンガ描いてたんで  
個人的に超うれしかったですうううう！！！！

こゝろ

あ、マンガは『なおとのほん-総集編』に入ってますww

先輩  
じゅんや  
おまかせ



先輩…  
あの、もう早く……  
僕、もう……

えっ  
ちゃんと言わなきゃって

そんな事  
い、言えません…よ……

……どうしても、  
言わなきゃだめ、ですか……

も、もうっ  
恥ずかしいな……



先輩っ、僕のおまんこ気持ちいいですか？

うん、すっかり上手くなったな

ん…も、もう…

せ、先輩のせいですよ？

パイズリもフェラチオも髪コキも

セックスもアナルセックスも

ザーメンの味も潮吹きも

子宮に中出しもアクメで失禁も…

何も知らなかった僕を女にして

全て、先輩が覚えさせたんですよ？

…僕、こんなにいやらしくなっちゃって…

もう…先輩のせいですよ。

ふふっ。責任、とって下さいね。

ああ、望むところだ。



先輩……パイラムの繁栄の為に僕にあなたの精子を下さい……  
 つ……直斗、俺だ！目を覚ませ！  
 わかります？僕、今、排卵期なんですよ。  
 貴方のザーメンが欲しくて身体が待ってるんです  
 止めるんだ、直斗っ！  
 ……ふふっ、そんな事を言っても、おチンポは正直ですね  
 陰囊も力チ力チになつて……もう出したいたいですね？  
 いいですよ。  
 ザーメン中出し……僕の子宮にぶちまけて、妊娠させて……！  
 僕を孕ませて下さい……だ、駄目だ……！  
 クツ……な、直斗……！  
 ああ……ああ……直斗……！  
 出てる……うっ……ザーメン、出されてる……  
 あ、熱い……  
 先輩の……濃厚精液が……僕の子宮に……いっぱい……  
 ……す……ご……い……こ……ん……な……の……  
 ……し……、子宮に中出しされて、僕、い……い……つ……ち……や……い……ま……し……た……  
 ……う……、う……う……  
 先輩、確実に妊娠するように、  
 ……も……っ……と……も……っ……と……僕の中に精液種付けしてください……



せ、先輩

やっと戻ってき……

ち、違う、この声……

花村先輩と巽君

そ、そんな……

いや

しっかりしろ、直斗

で、でも……

僕、も、もう……

お、おまんこもアナルも……

クリトリスも

げ、限界が……

バイブが互いに響きあって

膣内を腸内を刺激して……

むむ無理だっ……

耐えられないっ

イ、イクううっっ

他の男の人の居る場所で

イク……いっっちゃうよおっ

嫌っ嫌っあああ

先輩、先輩っっ

んふううううっっ





ふてく  
お尻  
うん

うん  
うん

うん  
うん

うん...

あ  
あ  
あ

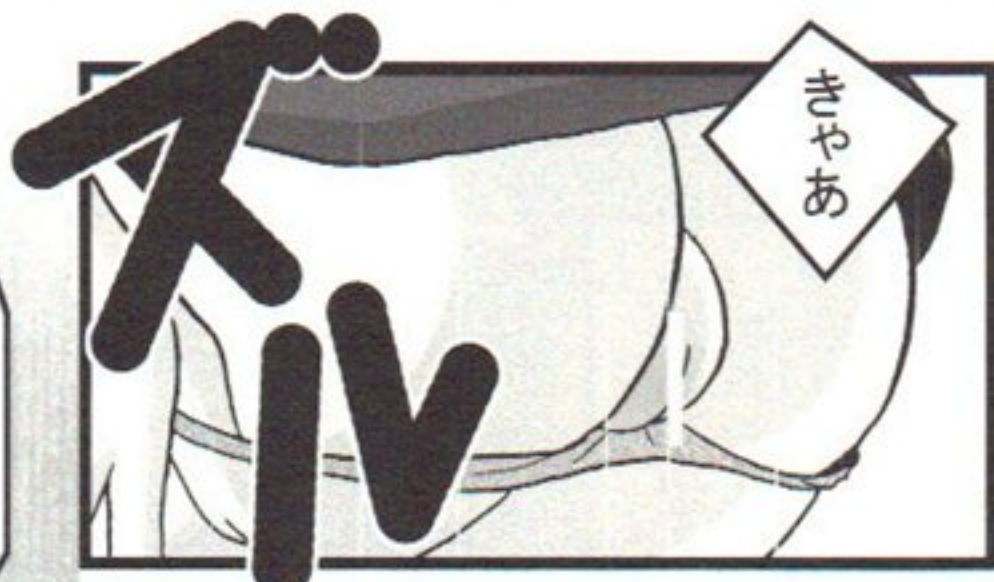
うん  
うん  
うん

うん  
うん  
うん

うん

うん  
うん

うん  
うん



だ  
ダメです！

ビク

ビク

さあ 直斗の「女の子」  
を皆に観て貰おうじゃ  
ないか！

こんな人前で……っ

約束通り  
男装をやめて  
もらおうか

え…

あぁっ

きゃあ

ズル

ぐにゅ

どうしよう

こんな姿  
テレビで  
流されちゃって

センパイ  
やめよオオろー...

びく

びく

むく

先輩  
おかしいまま  
だし……っ

久慈川さんを  
助けなきゃ  
いけないのに

ん……

直斗

あ……

ああ  
でも……



俺も直斗の事  
好きだよ

このまま  
ずっと二人で  
暮らそうな



あ♡

センパイ  
好き……っ

好きですう



はい  
先輩♡♡♡

ちよっとう

おおお!



ありきたりなネタですいませんでした…

## 八十稲羽でスカイツリーを作る男

自称特別捜査隊のリーダーこと通称番長の俺。

都会からのイケメン転校生ということでここ、八十稲羽にやってきたわけだが自分で言うのも憚られる程のリア充である。転校前のプレザーの俺はもう別人としか思えないほどのリア充っぷりである。一年前の俺は本当に俺なのか疑わしい程だ。

田舎の高校にしてはハイカラなデザインの制服も驚くほど似合っているわ。ペルソナは選り取り見取りでスキルも選り放題、おまけに行く先々でコミュったり依頼を受けたりと忙しい毎日だ。誘いの電話やメールを断るのに忙しいとか一年前は想像できなかった。

可愛い従妹、もう妹と言っても差し支えない位可愛い菜々子を始め、頼れる同級生や後輩達に恵まれて順風満帆な高校ライフをエンジョイしている。エンジョイしすぎてナンパでゲットした電話で怖い思いをしたり海水浴でポロリした完二のフォローをしたりカレーやオムライスで死にかけてたこともあったがまあ概ね良い思い出ばかりだ。

まあそんなリア充爆発しろ！と常日頃から陽介に言われている俺なのでもちろんモテるわけだが、特捜隊の仲間との関係はあくまで良い友達という関係を買っている。

異性の仲間には好意を持ってもらえるのは嬉しいのだが、俺には少々おっぴらにしたいくない性癖がある。

もしそれが受け入れられなかったら特捜隊がギクシヤクしてしまうに違いないからだ。表面上は普通を装っていても心の中は：テレビの中に入ったらうっかりそれが具現化してしまう可能性だつて無いわけではない。

そして残念ながら好意を寄せてくる女性の中に俺の性癖を満足させてくれそうな女性は居なかったのだ。仲間としては「好き」だが異性として「愛してる」まではどうしてもたどり着けない。

ひた隠しにする俺の性癖、それは太腿がたまらなく好きということだ。太腿、という単語にすら悶えるレベルでさすがに危ないと自分でも思う。

女性を見て、顔や胸、もちろん腰や尻、手や指や髪の毛なども良いとはもちろん思うし、もし将来自分が本気で好きになった女性がいたらすべてを好きになると思う。

しかしそれでも一番好きな部位が太腿になるのは間違いない。いつ自分がこの性癖に目覚めたのかはよくわからないが、陽介が俺の部屋に勝手に持ち込むDVDを観ても、映像的に強調されやすい胸や尻よりも、適当に扱われがちな太腿に大変興奮するのだ。

もちろん生太腿に興奮するのは言うまでもないが、こう女性の

太腿がズボン（ちなみにタイツやストッキング、スパッツ自体にはそこまで興奮しない）で素肌が見えないように隠されている。その下を想像するとマジでマーラがイキリタツ！から本気で気を抜くとまずいのだ。

そのズボンに包まれた太腿が座ったりしたときの張り具合や何気ない動きをするときの動き、普段は隠されている太腿の動きを妄想するだけで……やばい勃つフルボッキでマーラが八十稲羽スカイツリー状態だ。

スカートももちろん良いとは思うのだが、あれはなんというかこう、見ようと思えばすぐに太腿が見えてしまうガードの低さに少々テンションが下がってしまうのだ。

陽介やクマは間違いなくパンチラに興奮するだろうが、俺はパンチラよりも太腿チラに非常に萌えを感じる派だ。

たまに陽介と一緒に鑑賞会と称して陽介秘蔵のグラビアDVDを見たりするが、この性癖だけはひた隠しにしている。

普段のポーカーフェイスを崩さずに見ているが、たまに不意打ちのように太腿が強調されたりするとマジで困る。

胸のアップに興奮している陽介をクールに見つめつつ余裕を持って優雅たれとばかりにオレンジジュース（ジュネスのプレイベートブランド品）を飲んでいるときに不意打ちで太腿がアップにあったりすると思わず吹き出しそうになるのをクールにかつバレないようにこらえなくてはならないからだ。

陽介はしょっちゅう「やっぱ巨乳がいいよなあーこの細い腰！たまんねーな！絶対領域もマジ良いよな！ニーハイ最高！」と好みをおおっぴらにしているが俺はそういうのはできるだけ表面には出さないようにしている。

陽介は真っ先にコミュMAXになった親友だ。頼れるし面白いしムードメーカーだし面倒見もいい。がっかりな部分もあるが、それもまた陽介の良いところだし戦闘では先陣切ってWブースタのマハガルダインで殲滅してくれる頼れる相棒だ。自信をもって親友と言えるが、それでも性癖をバラすわけにはいかない。

バラしたところで「へーそうなのかー太腿もいいよな！」というそんなものだが色々とうっかり要素のある陽介がいつ口を滑らすかわからない。それがまかりまちがってクマに伝わったらどんなタイミングで皆に暴露されるかわかったものじゃないからだ。

すまん陽介、そういうわけで俺の性癖は自分の墓場までひっそりこっそりと持っていくよ。うん、巨乳も好きだよ？でも太腿のほうがもっと好きなんだ。

絶対領域とかじゃなくて太腿が一番なんだよ！だからお前がりせの絶対領域萌えとか言っても半分くらいしか同意できないんだ。俺には隠されている太腿こそが至高なんだ！

一応俺も自分のキャラというものを把握はしている。俺は陽介の様ながっかりキャラではないのは百も承知だ。なので太腿が好きということも普段の生活で表面には出してない。脳内の妄想

もしくは自室だけにとどめるよう鋼の太腿萌え番長として日々生活をしている。

この性癖をおおっぴらにしないで居心地の良い八十稲羽での一年間が過ごせるのなら喜んで自制しよう。

隠し事は得意だ。この番長ポーカーフェイスで性癖を三月まで隠し通して見せる！

そう、九月のある日までは隠し通せると信じていた。一年何事もなく八十稲羽でリア充として過ごせると。

四月にイザナギがどうもどうも出てきたのを皮切りに、陽介からジライヤがヨロシクしたり里中からトモエがこんちわーと出てきたり天城からコノハナサクヤがごきげんようしたり。

そんな五月のある日、俺は次の誘拐のターゲットと思われる巽完二を追いかけていた。現役ヤンキーで族の頭だのあまりいい話は聞かないが、被害を未然に防ぐために俺はなけなしの勇気を振り絞ったのだ。

（ちなみに5月の時点で俺の勇気はまだ「なくはない」レベルでした。完二に凄まれたときはぶっちゃけチビるかと思いましたが正直マジで怖かったです。病院のアルバイトなんて怖くて絶対無理、嫌い、しんどすぎ！と思っていた時期です。）

聞き込みのさなか、完二の実家である巽屋に行った際に俺たち

は小柄な少年に出会った。少年の名前は白鐘直斗。現役の探偵だ。探偵といえは黒づくめの薬で小さくされたりじつちゃんの名に懸けたりしつつ、行く先々で必ず殺人事件に巻き込まれる職業という印象が強い。テレビドラマではよくわからない探偵もたくさんでてきているが。

白鐘は里中や天城よりも小さく、帽子を被っていたので細かい表情まではわからなかったが綺麗な顔をしているというのが第一印象だった。

その少年は完二の事件の後、久保の事件の際にもちよこちよこ顔を見せていたが、久保の一件の後の夏休み中に会う機会は残念ながらなかった。まあ連絡先とか交換していたわけじゃないので連絡の取りようもなかったが。

モロキン殺害事件も無事に犯人確保、夏祭りに行ったり花火を堪能したりジュネスでバイトしたり残った宿題を片付けてスイカも食べていざ新学期という時に驚くことが起きた。

なんと新学期に合わせて警察の特別捜査員として八十稲羽に来ていた白鐘直斗が八十神高校に転校してきたのだ。

直斗曰く「事件はまだ解決していない」ということで腰を据えて捜査する為にわざわざ転校してきたらしい。見上げた探偵根性だ。

その後の修学旅行でも一緒になる機会があり、多少会話を通して人となりを知ろうと思ったのだが「バカ軍団」呼ばわりされて

しまった。

ちよつとまで、これでも俺は学年トップの成績だぞ！天城だって成績上位……だけど他がバカなのを見抜かれてしまったのだから。特に一年組はひどい。そろって夏休みに補修だったらしいからな。ちくしょう、まさかそこまで見越しての「バカ軍団」だったのか。さすがの探偵の洞察力に口答えもできなかった。

その後直斗が自身を囮にしたおかげで久しぶりのマヨナカテレビが映り、俺たちは直斗救出のためにテレビに飛び込んだのだった。

初対面の印象で性別を疑う要素が全く無かったのだが、秘密結社改造ラボにて衝撃の事実が発覚した。

直斗は俺と性別が違う。そう、すなわち女性で完二の反応は決しておかしいものではなかったのだ。普段から直斗は男の格好をしており、声もりせのアイドルボイス支援を聞きなれていたのに性別を疑う余地がなかったのだ。

しかし事実直斗はシャドウが暴露した通り紛れもなく女性。本人もそれをわかったうえで言動や服装だったらしい。制服もぶつちやけ校則違反だ。本来ならスカートを履かなくてはならない救出された後で性別が学校中にばれても直斗はスカートを断固として履かなかった。

直斗曰く「似合わないしこっち（男子制服）のほうが落ち着く」とのことだったが、逆に俺がヤバイことになっていた。

直斗を女性とみるようになってから、八十稲羽に来てからひた隠しにしていた太腿萌えが弾けて全開スパークン！！してしまつたのだ。

制服のズボンや私服のズボンに隠されている直斗の太腿を想像するだけで授業が終わることもザラにあった。

それでも授業中に顔や股間に出すようなことはなかったのはさすがと自分をほめたい。

探索中も直斗は何を着てもズボンだった。制服・私服・ジャージ、挙句の果てにはマーガレットさんにもらつたベルボーイっぽい青い服まで直斗の分は男物。

応援団服もなぜクマがチアのスカートなのに直斗は学ラン。ハロウィンのびったりとしたハーフパンツ（？）にはかなり妄想を掻きたてられたが、一度しか着てくれなかった。

そしてそれらの服で隠された太腿を想像してますます俺のマーラ様はイキリタツのであった。

直斗の隠された太腿を見たい、見て触って揉んでできれば頼ずりしたり挟んでもらったりあわよくば素股も……と妄想する日々。しかしやはりその欲望をむき出しにするのはためらわれた。

直斗のことは好きだがもちろん太腿だけが好きだけではない。ほかの所もすべてをひっくりくるめてどうしようもないくらい大好きなのだから。ここまで一人の女性を好きになったのは初めてだ。



ここで直斗に本能むき出しで突撃しようものなら「先輩は僕の太腿だけが好きなんです。見損ないましたよ。」と冷たくあしらわれてしまう。そんな事態だけはなんとしても避けたい。

直斗としても俺に対しての理想は少なからずあるだろう。その理想を男として、リーダーとしてぶち壊すわけにはいかないのだ

なにはともあれ直斗と仲良くなるのが先決だ。とりあえず学力は申し分ないのであとはひたすら夜の病院でバイトして勇気を上げる仕事に励む。もう何も怖くない！

そして運命の十一月。生田目から菜々子を速攻救出し、叔父さんと菜々子の容体を見守る日々を過ごしていた。俺は医者じゃないから菜々子や叔父さんを治すことはできない。ペルソナ能力で治せるものなら全力で治していたが、こちらの世界ではペルソナは呼び出せない。俺にできるのはひたすら信じて待つ事だった。

容体を気にしつつ上がりきった勇気を携えて怪しい黒服からカードをもらい、直斗とコミュを深めていく。

うっかりリバーシしたりしたがようやく俺は「直斗をかばう」と「直斗が女でよかった」と「好きだから」のトリプルコンボを無事にキめることができたのだ。

めでたく恋人としてゴールインした俺と直斗。

直斗は堂島家の一人で住むにはあまりにも広い家でさびしく過ごしている俺を気遣ってよく遊びに来るようになった。

もちろん年頃の恋人同士かつ家には誰にもいないといえはやることはもちろんしつかりやっているわけで。ゴムの買い置きはバッチリです！時価ネット御用達です。

最初は部屋の明かりは全部消して雨戸もカーテンも閉めてほぼ明かりのない真っ暗な状態でないと服を抜がせてくれなかった直斗。するときは脱がす箇所は最小限で太腿を堪能する余裕も俺にはなかった。挿れて出すだけで精いっぱいテクもなにもあったものじゃなかった。

しかし回数を重ね、俺のテクも向上したおかげで最近はややく普通にセックスできるようになった。さりげなく太腿を撫でる余裕も出てきた。誘えば恥じらいながらも俺に体を預けてくれる直斗。俺も余裕を持って直斗を抱けるようになった。

よくここまで頑張ったと思う。誰か褒めてくれ。

そう、頑張って頑張ってやることやっても太腿萌えははまだ直斗にひた隠しにしていたのだ。

ごく普通のセックス。ゴムを着けて挿れるところに挿れて直斗を気持ちよくして自分も気持ちよくなってたつぷりと薄膜越しに射精。まあ一回で済むことはまれなのは十代にはよくあること。たまに太腿を撫でるだけに留めていた。

直斗にも今までの行為の中で俺の太腿萌えはバレていないはずだ。バレるようなあからさまなことはしていない。探偵の推理

力を欺く程のポーカーフフェイスだ。

月日は流れて十二月。一連の事件の主犯である足立を捕まえて年末年始を叔父さんと菜々子、そして仲間達と楽しく過ごした。

もうテレビの中には用はないと思っていたのだが：一月になると何かの籠が外れたように直斗の女性用服が大量に手に入った。

クリスマスの女子制服に始まり、月光館学園の制服、メイド服。

そして：柏木先生の依頼のお礼としてもらったコロネットアーマー！コロネットって確か小さな王冠って意味だぞ？小さな王冠で隠せるような範囲しか防御しない鎧ってことですねわかりました！

なんだこのけしからん服は！昔のRPGの女戦士かよ！

これらはもう直斗に着せるしかない。進むリピドーを抑えきれない。だが直斗のことだ、仲間の前でもあまりスカートは履きたがらないのにこんな水着のような服を着てくれるだろうか？クリスマスでは女子制服を着てくれたけどその後はすっかりご無沙汰だ。

リーダー権限使えば無理やり着せることもできるが俺としても直斗のスカート姿は一人占めしたいし無理強いはしたくない。

ということと今日は直斗用の各種スカート及びコロネットアーマーの試着をもらう為に自宅に呼んだのであった。

ちなみに本日、叔父さんは仕事で帰日も遅く菜々子は今日は全

快記念という事で叔父さんの許しを得た上でクラスの仲良しの友達に家にお泊りしている。

まさに直斗を呼ぶには都合がいい日だ。むしろ今日呼ばないでいつ呼ぶというレベル。

放課後ウキウキ気分直斗を誘った。ホイホイついてきてしまいう直斗に少々罪悪感を覚えたが俺の性欲はその程度じゃ収まらない。

自室に案内して服を直斗に見せ、一通り説明をする。

「：というわけでさっそくこれらを試着してほしい。」

「なに素敵な笑顔で」というわけで『ですか！そもそもどこからこんな服を：他校の制服にメイド服に：な、なんですかこの下半身のガードに不安しかよぎらない服は！っていうかこれはそもそも服なんですか！？意味わかりませんよ！』

「もちろん全部ちゃんとした服だ！（言霊使いの伝達力）」

「ううっ：そんな自信たっぷり言わないでください：」

直斗は学ランの裾をつまんでもじもじとしている。ここで無理やり着せるのは俺の趣味じゃない。

このタフガイと呼ばれる根気と直斗からのどんな言動も受け入れるオカン級（むしろオムドライスを褒めた菜々子級）の寛容さをもってひたすら自発的に受け入れてもらうのを待つ戦法にする。

「そ、その…クリスマスの時に着たじゃないですか…せ、セーラー服…」

「もつといろんな恰好をした直斗を見たいんだ。俺しか見ないんだしいだろう？な？」

家の周りのネコや鮫川のネコから餌をねだられるときのあの視線を取り入れた必殺《普段はしつかり者のリーダーからの切実なお願い目線》で直斗に訴える。

「うっ…そんな目で見つめないでください…わかりました、着ますから！卑怯ですよその目…僕が逆らえるわけがないじゃないですか。」

計画通り（心の中で超ドヤ顔）！

「ありがとう、直斗。じゃあまずは一番ハードルが低いこの月光館学園の制服だな。」

まずは月光館女子制服を着てもらおう事に。八十神高校のセーラーを着られたのだから大したハードルではないだろう。

さすがに目の前での生着替えはしてもらえず。

してほしいと《普段はしつかりもののリーダーからの切実なお願い目線・Var・E》をしたが、直斗のガルガリンアイズにうつかり老化させられるとこだった。白髪がこれ以上増えても目立たない髪色だが、鼻毛や眉毛やわき毛まで白髪にされそうな恐るべき眼力だったので、しぶしぶ部屋を出て直斗の着替えが終わるのを待つ。

着替えが終わり、直斗に呼ばれて中に入る。

「へえ…似合うじゃないか。さすが直斗。」

きつちりとした着こなしがよく似合っている。いつもの学ラン姿からは想像できないほど女の子らしい。いや、女の子に女の子らしいというのは失礼だな。

「褒めても何も出ませんからね！」

普段ズボン姿ばかりの直斗を見ているからかスカート姿を見るとついつい足を見てしまう。本当はじっくりと太腿を凝視したいのだが、それをやったら間違いなく不審な目つきになってしまうから自重。

直斗の足は細く綺麗で無駄毛のない理想の足だ。スカートに隠された太腿にスリスリしたり挟まれたい！

セックスのたびに毎回太腿を撫でるが直斗の太腿は本当にいいものだ。

日焼けしていないむっちりした感触は触っているだけでイキリタツ至高の一品だ。マーラ様を挿れる前に足を撫でているだけで暴発してしまいそうになったことも正直一度や二度ではない。

よし、落ち着け俺。次はメイド服だ。メイド服は月光館制服よりもスカートが幾分短い。さらに足を拝むことができる。

「じゃあ次はこのメイド服を着てみてくれ。」

「うう、まだこの他校の制服はいいとしてもメイド服なんて…僕には無理です！」

絶対無理と言いつ張る直斗にいかにもメイド服が素晴らしいかを溢れんばかりの生き字引としての知識を持って解説する。メイド服の歴史からその役割、そして今俺がどれだけ直斗のメイド服姿を欲しているかを切々と語った。

「…というわけだ。メイド服がいかに素晴らしく直斗にこそ着てほしい服というのはわかってもらえたか？」

「はあ…なんか貴方に言いくるめられたような気がしなくもないですが…仕方ないですね。ほ、ほら早く部屋でてくださいよ！」

「えー…今度こそ生着替えを…」

「ヤマトスメラミコト…コンセントレイト…バカなことが言えないように凍らせてあげましょうか…燃やすのもいいですねえ。」

ああ、それともメギドラオンのほうが好みですか？」

喚び出せないとわかっていても、もしかしたら喚べるんじゃないかと思わせる程の直斗の素敵なお顔。

「ゴメンナサイゴメンナサイ！」

くそう…直斗と温泉行って未来の話なんかするんじゃないか？ た！うっかり四属性ダイブ覚えてしまったからこちらの世界でペルソナ出せないとわかっていてもなんか怖い！

伝達力が言霊使い以上にならないと生着替えは押めないか…言霊以上の伝達力ってもう恐山のイタコにでもなるしかないのか？

再び部屋の外に出る。暖房がきいていない廊下はとても寒い。早く着替えて俺の股間をさらに熱くしてくれ直斗！

ガタガタ震えながら待つと部屋の中からドアを叩く音が。直斗からの入室許可の合図だ。

入室するとそこには…俺の理想の直斗がいた！

思ったよりも短いスカートからは白い足が惜しげもなく覗いており、その白い太腿に俺のマーラ様をこすり付けたい欲望に駆られる。

だがしかし、それを表面には出さずにサワヤカに褒める俺。

「やっぱり直斗は可愛いからなんでも似合うな。そのまま俺専用のメイドさんになってほしいよ。」

「メイドだなんて僕には…どちらかといえば執事服の方が似合うと思うんですが。」

執事服でストイックに全身を覆う直斗をゆつくりと剥いて太腿を撫でまわしていくのも萌えるが、やはりメイド服の太腿チラにはかなうまい。

「いや、メイド服のほうが絶対似合う。こんだけ可愛い直斗は陽介達には見せたくないな。」

「僕だってお断りですよ！こ、こんな格好…別にしなくても探索にはなんら影響ありませんし。」

「うん、じゃあリーダー権限で直斗のスカート姿はみんなに見せないことにする。」

「本当ですか！ありがとうございます。」

俺の言葉がよほどうれしかったのだろう。ニコニコとうれしそうな顔をするメイド直斗。なにこの破壊力。俺もうすぐ死ぬの？しかしタダでそんな約束をするような事はしない。世の中すべては等価交換ですよ？

「た・だ・し！これをちゃんと着てくれたらの話だがな。さあ、どうする？」

俺の手にはコロネットアーマーが握られている。さて直斗はどうするだろうか？

気心が知れた仲間とはいえあまり見せないスカート姿をさらすのを選ぶか、ここで俺だけにエロエロアーマー…じゃなかつたコロネットアーマー姿を見せるか。

「うっ…交換条件とは卑怯な！」

「卑怯じゃない。正当な等価交換だ。」

「普通恋人の為ならそういうのは条件なしでしてくれるものじゃないんですか？」

「じゃあ直斗も恋人の俺のために文句を言わずにこの服を着てくれたりしないのか？」

「ううっ…だって…それはもう服じゃないじゃないですか…」

「なにをいう。これはちゃんと沖奈で売っていたやつらしいぞ？柏木先生からもらったもんだし。」

「柏木先生から…ですって…あの人なんでこんな物を！？」

直斗がうぐぐともグギギとも形容できない唸り声をあげて俺の手に握られている服をじっと見ている。

「それを着れば…本当に本っ当に絶対に命を懸けて探索の時にスカート姿やその手にしている服の格好をみんなの前でなくていいんですよね？」

「ああ、男に二言はないぞ。」

「いや、まっつてください。主犯の足立を捕まえて今現在マヨナカテレビが映る気配もない。ということはテレビの中に行くこともないはずですよ。ということは先輩とこの契約をしても僕にメリットはほぼないということですよ！」

勝ち誇ったようなドヤ顔の直斗。悔しいけど可愛い。

さすがは探偵、俺の気持ちを読んでいたとしか言えない思考だな。確かに足立逮捕の後テレビに行っていない。進んでいくようなところでもないし。

だがしかし俺は直斗の勝ち誇った顔を崩すことができるネタを持っている。

「先輩、テレビに行く用事が無い…探索がない…これらの服を着る機会が無い、ということはここで探索時の約束をしても全く無駄ということになりますよね？」

してやったりといった顔で俺を見上げてくるメイド直斗。くそう反則だぞその格好でその視線は！

しかしまだまだ甘い直斗。この俺がなにも考えていないとで

も思ったか？

だてに十ヶ月もの間捜隊リーダーをやってはいないぞ。

「まあ聞いてくれ直斗。確かに事件は解決して霧も晴れたしマヨナカテレビも今のところ映らない。しかし…直斗も知っているように八十稲羽には俺に探し物を頼む人がとても多い。」

「それは知っていますけど…人だけじゃなくキツネ君や川辺のネコにまで買っているという話はよく聞きますよ。」

「買っているっていうな、人聞きの悪い。まあ一月現在で数学の中山先生からマガツでしか見つからないような黄金の鎖とかカーメンからもよくわからない金属を依頼されているんだ。どうしても必要なものらしくてな。」

「先生からの依頼ですか。むう…」

「そうだ。たった一年だけとはいえお世話になってる先生の頼みを断るわけにもいかないだろう？それに、だ。テレビの中には一人ではいけない、行くときは特捜隊のみんなだと決まっている。よって俺が一人でテレビに潜って依頼品を探すのは皆との約束を破ってしまうことになるので無理というわけだ。」

「その理論で行くならば近いうちにまたテレビに入るってことですか。」

「そうだ。直斗は理解が早いから助かるな。ということとそれらの衣装を着る機会はきちんとあるということだ。わかったかね名探偵白鐘直斗君？」

ふっふっふ。どうだこの俺の完璧な理論！先生からの頼まれ物&禁じ手ともいえる『寂しげな表情』&『たった一年だけ』のコンボはかわせまい。

しばらく直斗はどうするか迷っていたがやがてあきらめたように溜息を一つついて俺の手を握った。

「わかりました、着ます。でもそのかわり…」

「ああ、ほかの皆の前ではスカートやこの格好はさせないよ。」  
むしろ直斗にはスカートよりもストイックにズボン姿の方が太腿フェチ的にとっても萌えるというのは秘密だ。今日コロネットアーマーに拘るのはまた別の萌えがあるからだ。

こうして俺は直斗に憧れのコロネットアーマーを着せることについて成功したのであった。

あのアーマーを服として販売している沖奈のあの店は一体どんな服のジャンルを取り扱っているのかいまだによくわからない。ミスコンで柏木がコロネットアーマーを着て出場していたらいろんな意味でヤバかったはずだ。

しかしあれだな、RPGでも伝統的なビキニアーマーは本当に防御力というものを考えていないとおもう。防御力を捨てる代わりにロマンを手に入れたとでもいうべきか。

と、そんなことを考えているとドアを叩く音がする。  
ウキウキしながらコロネット直斗ウォッシングをしようとド

アノブを捻るが中から直斗が中から押さえているのか動かない。

「直斗？早く開けて欲しいんだけど…廊下寒いし。」

「や、やっぱり恥ずかしいです！こんなの服じゃないですよ！！！」

「じゃあみんなの前でスカート履いてクリティカル攻撃で思いっきり足蹴り上げてパンツ見られたい？」

「それも嫌です！ああもう…こ、こんな格好…屈辱すぎる…」

押し問答の末ようやく直斗が諦めたようにドアノブを捻ることができた。期待に股間を膨らませつつ部屋に入ればそこにはコロネットアーマーをきちんとは装備した直斗が！

恥じらう顔！ぷるんぷるんのはみ出さんばかりの巨乳！細い腰！下半身に食い込むアーマー！そして…神々しいばかりに輝きを放つ直斗の美脚！太腿！太腿！大事なことから何度でも言う！

**太腿！HU・TO・MO・MO！**

日に焼けていない白い肌にすらっと伸びた脚、肉付きも俺の理想だ！さわればすべすべ滑らかでむっちり、揉めば極上の弾力で押し返してくるまさに至高かつ究極の脚！足！肢！この太腿で膝枕されたら死んだっていい。それくらい究極の太腿だ。

「ちよ、先輩！さっきからどこ見ているんですか！！！」

俺の熱く食い込むような視線に直斗は気が付いたらしい。小さな手で下半身を必死に隠そうとする。

しかしそうすると自然胸を強調するような格好になってしまいい、それはまたそれで…ニヤニヤがとまらない。

「直斗…よく似合っているよ。うん、いつそのことそのままで生活すればいいんじゃないか？」

「バカ言わないでください！もういいでしょう、着替えますから出てってください！」

「まだダメだ。」

ダメというか俺の股間がもう限界だ。これ以上直斗の美脚を見ていると…俺のマアラが疼いて仕方がない！爆発する！

「直斗っ！俺のマアラを落ち着かせてくれ！八十稲羽にそそり立った俺のこのスカイツリーを！」

ズボンの中ではちきれんばかりに成長していたマアラを取り出し直斗に見せる。すでに先走り濡れててらと光っている

「ちよっと！いい、いきなりナニ出しているんですかっ！しまってくださいよ！ていうかスカイツリーに失礼です！」

「しまえないくらいに成長してしまったのは直斗のその格好のせいだからちゃんと責任とってくれ！」

「そもそも半分脅して僕にこの服させたのは先輩で…きやあ！」

なおも文句を言い続ける直斗を軽く床に押し倒し、マウントポジションを取る。

上から眺めるコロネットアーマー直斗…巨乳にはさんでパイズリからの顔射も良いしムチムチの脇コキも捨てがたい。乳首を集中して攻めておっぱいぶっかけザーメンパックも良いだろう。無駄な肉の無い腹にたっぷりぶっかけるのもオツだろうしサラサラの髪での髪コキも間違いない気持ちよいだろう。

しかしそれ以上に俺が期待してやまない分は…そう、太腿！

「先輩、いい加減にどいてください！！」

「直斗…俺のマールを助けられるのは直斗の太腿だけなんだっ…頼む！」

「太腿…？ちよ、そんなに撫でないでください！くすぐりたいです！」

我慢できずにむっちりとしたさわり心地の良い太腿を触る。吸い付くような感触に全身が歓喜に震える。ここにマールを挟むのもいいけどその前にまずは顔を挟んでぎゅーっしてしてもらいたい！

「直斗、ここに顔挟んでもいいか？いや、もう答えは聞かない！」

まだ文句を言い続ける直斗の脚を強引に割り開き、顔をうずめる。両手で太腿を抱えて自分の顔を挟み込めば…なんという天上楽土！ウヒョオオオオオ！

必死に俺の頭をどかそうと頑張る直斗の力なんてお話にならない。

「先輩っ…もうっ！バカ！！」

「ああ、生きててよかった…林間学校のマハムドカレーで死ななくて本当によかった…夏の打ち上げの時のオムライスで死ななくてよかったそして直斗にあえてよかった！」

顔を埋めたまま申し訳程度に秘所を覆っている布地をずらし直斗の可憐な蕾を舐める。

太腿にはさまれて極上の時間を味わいながらの直斗への愛撫。

直斗もここを舐められるのは弱いのか、だんだん俺の頭を引きはがそうとする力が弱くなってくる。

「んっ…そこっ…ひっ…」

「ん、もういきそうか？」

ガクガクと直斗が震えるとそれに応じて太腿も震える。まさに極上マッサージ！もうここに住みたい。引っ越したい。

舌先で優しくつついて転がして柔らかい部分を舌で丁寧に舐めあげ、仕上げにクリトリスをきつく吸い上げる。

「だめっ…それっ…だめですっ…ひあああっ！」

いく瞬間、太腿にもぐっとな力が入り、おもいきり顔を挟まれた。

俺の手の力だけでなく直斗からの力でさらにしっかりと太腿の感触を味わう。

いつてぐったりとした直斗を見下ろせば焦点の合わない目で



体に燻る快感を追っていた。

直斗がいったのであれば次は俺の番だ。もうマールラが限界突破しそうな勢いでかなりやばい。弛緩した直斗の両脚をびったりと合わせ、胸に向かって折り曲げる。

「やあ…先輩い…何を…？」

「大丈夫、ちよつと素股させてもらうだけだから！」

「す…また？」

なにをするのかわからない直斗には実際にやって見せるのが一番だろう。力の入らない直斗の手を取り、膝裏を抱えさせる。むっちりと合わさった太腿にいきりたったマールラを挿入する。先走りを塗りつけるように数回太腿で擦れば次第に動きはスムーズになっていく。俺の腰の動きも激しくなり、直斗を揺さぶるような動きになっていく。

夢にまでにみた直斗の太腿での素股は想像以上に気持ちがいい。なんというか、プリンとマシユマロの良いとこどりをした奇跡の暖かい物体にはさんでしごいているといったところか。

「やあ…先輩の…熱いです…」

「相当我慢していたからな。全力でイかせてもらうぞ、直斗！」  
太ももの感触を堪能しつつ、初めての感覚に怯えつつも何かを感じ取っている直斗の表情を見れば昂ぶりが弾けるのはそう遠くはなかった。

クリトリスにマールラの先端をこすり付けるように激しく動か

せば、直斗も感じているのかひっきりなしに高い声を上げる。

「イクぞっ…」

「ひゃっ…ああああっ！」

マールラに貯めにたっぷりと貯めこんだ濃厚白濁マールラ汁をこれでもかと発射して直斗の腹を白く染める。残滓は太腿にしっかりと塗り付けて肌の白さと精液の白さを堪能する。

「はあ…物凄い気持ちよかった…」

「いきなりなにをするかと思えば…びっくりしたじゃないですか…」

ふてくされた直斗が体を起こし、俺を睨みあげる。中に挿れていないので直斗もいつもより疲れておらず、元気なものだ。

「いや…その…直斗の太腿を見ていたらどうしても抑えられなくて…ごめん。嫌だったか？」

「嫌というかびっくりしたというのが先ですね。先輩はその…女性の象徴的な胸やお尻よりも太腿に魅力を感じる方なんですか？」

「そのとおりです！い、いやもちろん胸も腰も尻も指も髪も直斗だったらどこでも大好きだけどやはり一番といえばこの白くてむっちりとした最高のさわり心地最高の例えようもない極上の感触の太ももでここに挟まれてできる仕事に将来は就きたいくらいです…」

「そんなに熱く語らないでください！気持ちにはわかりましたか

ら!!!」

真っ赤になった直斗に口をふさがれる。直斗の脚について語つたら軽く半日は話せるんだが…ダメか。

「え、じゃあこれからも素股させてくれる?や、もちろん中に挿れるのもしたいけど。」

「そこまで好きならばいいですよ…ただし!」

「ただし?」

「その…僕のこともちやんと…気持ちよくしてくれらなら…」  
もじもじと普段の直斗では絶対言つてはくれないようなおねだりだ。そういうや素股は俺にとっては最高だが直斗からしたら少々物足りないのかもしれないな。

「もちろん!直斗と一緒に気持ち良くなりたいたいからな、まかせてくれ!知識MAXの俺にできないテクニックはないからな!」

「いや、そこまで張り切ってくれなくてもいいですから!普通ののでいいですからね!」

「では早速別の姿勢で素股を…直斗、四つん這いになつてくれないか?今度は背後からやりつつたぶんたぶんのおっぱいを揉んでだな…」

「いい加減人の話を聞いてください!!!」

直斗とのウキウキ☆素股ライフは前途多難に見えつつも案外順調にいきそうだ。

素股最高!太腿最高!次はバニーガールコスで網タイツコキをやってみたいと思う今日この頃。さて、服をどこで調達しようかな。沖奈のあの店で調達できるかな。

\* \* \* E N D \* \* \*

コロネットアーマー最高ー!!(\*'∩')



おまじないおまじないおまじない



…と、こんな感じの抱き枕が作りたかったのですが間に合いませんでしたガクリ

次のPからはゲスト様のインフォメです～  
素敵な直斗を直斗をありがとうございましたあああ！！

soga様…きよにゅー直斗ありがとうございます！！首リボンがたまりません////  
MEE様…脱衣KO直斗ハァハァ!!…ですよー！！P4Uはそういうお話だと思います！！  
河住ゆいき様…まさかの太ももフェチ番長ww番長の太もも愛がwwもうwww

スポーツ  
あざむき!

# Dirty69Star★

<http://dirty69star.xxxxxxxx.jp/>

soga個人サークル  
夏冬コミケを中心に成人向けで活動中

この度はお誘いありがとうございました！

ゆきのさんの素敵なご本に私のへっぽこな作品が……お目汚し  
大変申し訳ありません。愛が歪んでいて重ね重ね申し訳ありま  
せん。これでも本人は愛を注いでおります～><；  
ゆきのさん！これからも素敵主直本を期待してますよ！！！！

MEE 拝

1770Xページまで頂いてしまい恐縮です…！

- 「LOVE ROSE(ラブローズ)」「MILK(ミルク)」というサークル名で歪  
んだ主直本出してます。東京のイベントにたまに出没してます  
ので見かけた際は宜しくお願い致します。

メール ⇒ [loverosemilk@yahoo.co.jp](mailto:loverosemilk@yahoo.co.jp)



BC+P4

河住ゆいき

<http://11koto.blog.shinobi.jp/>

TVの国の  
アリス番長

~ Hero in TV-WonderLand



ユキノハナ

# なおとのほん

- 総集編 -

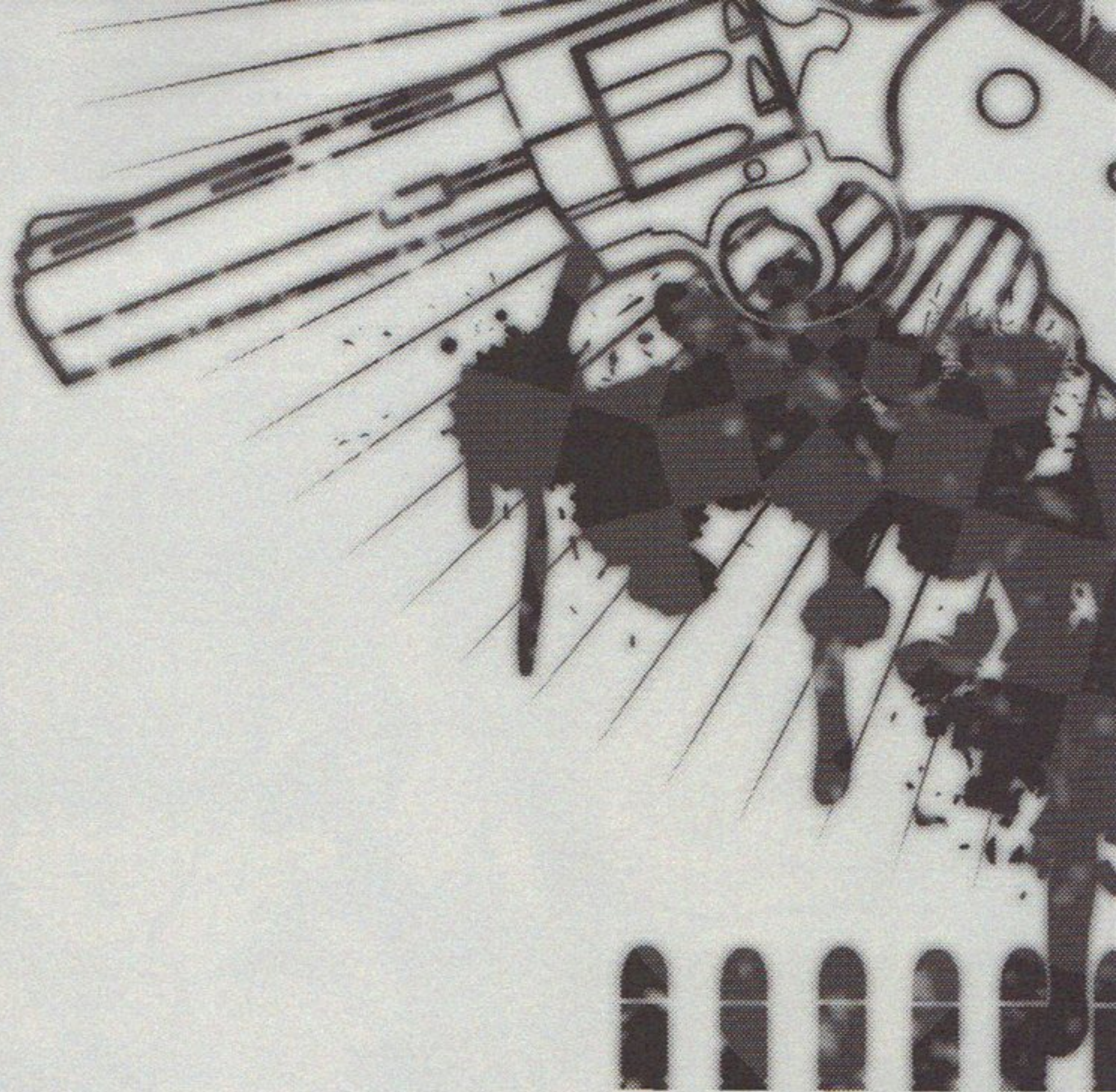
…とか、直斗本とかP4本とかいろいろあります  
とらのあな様とかメロンブックス様とか  
DLSite.com様でお取り扱い頂いてます  
興味持たれましたらよろしくおねがいます～！

狂っ  
ううああああ

先

**R-18**  
FOR  
ADULT





# ナオトマニアアゲス

2012.08.12 発行

印刷:株式会社小山オフセット印刷所(同人誌印刷.com)様

ユキノハナ(さくらさわゆきの)

<http://yukinohana.sakura.ne.jp/>

[sakurasawa.yukino@gmail.com](mailto:sakurasawa.yukino@gmail.com)

読んで下さってありがとうございました!  
またお会いできるとうれしいです...!  
直斗ー直斗ー



オトマニヤリス

ユキノハナ